



「駅体制の見直しについて」提案を受ける！

JR東水戸水戸地本は12月23日、会社より「駅体制の見直しについて」提案を受けました。実施内容は以下の通りです。

■ 施策内容について

- ・土浦駅 乗客業務の見直しについて 実施日 2022年3月12日
 - ・勝田駅 みどりの窓口営業時間変更【6:00~19:00 → 7:00~19:00】 実施日 2022年4月1日
 - ・高萩駅 お客さまサポートコールシステム導入 実施日 2022年4月1日
 - ・泉 駅 被管理駅化、お客さまサポートコールシステム導入 実施日 2022年4月1日
話せる指定席券売機導入によるみどりの窓口営業終了
- ※ 勿来駅、植田駅、泉駅、湯本駅の管理駅を「いわき駅」とする

■ 箇所体制について

		現行			改正			記 事
		変形等	交代	計	変形等	交代	計	
勝田駅	管理	1	1	2	1	1	2	
	一般	1	6	7	2	5	7	
高萩駅	管理	1	1	2	1	1	2	
	一般		3	3	1	2	3	
泉 駅	管理	1	1	2		1	1	
	一般	1	1	2		1	1	

※ 業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

議論内容

土浦駅 出面数は、【管理】変形等6、交代1 【一般】変形等1、交代7である。

勝田駅 みどりの窓口営業時間の変更で業務量が変化し、3テツ1日勤が2テツ2日勤になる。

高萩駅 お客さまサポートコールシステム導入により、2テツを1テツ1日勤になる。

泉 駅 被管理駅となり、駅長業務はいわき駅長が行う。また、券売機は1日平均100枚である。話せる指定席券売機を導入することで体制見直しを行う。

業務委託駅の営業体制変更は、お客さまサポートコールシステムの導入等によりステーションサービスが行う考えである。

働き甲斐のある営業職場を目指して要求づくりを行おう！